

「生物多様性」を保全・活用した「まちづくり」

2012年から阿南市環境保全課と阿南高専が連携し、阿南市の豊かな生物多様性を保全しつつ、持続的な活用によって市の活性化を目的にした事業

担当：大田直友、川上周司、東和之、坂本真理子



第一期（2012～2014年）

- 阿南市の自然豊かな地域を調査、活用ポテンシャルを検討
- 『阿南市生物多様性ホットスポット』6ヶ所の選定

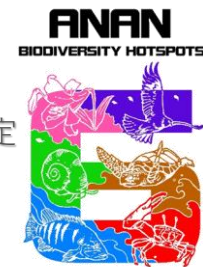


- 伊島、蒲生田、那賀川・桑野川河口、出島野鳥園、桑野川上流、太龍寺近辺



第三期（2018年～）

- 「生物多様性あなん戦略」の策定
 - 戦略を支える25の重点施策、12の既存施策をとりまとめ
 - 推進体制やネットワークの構築
 - 市町村としては四国初！中四国でも3番目の戦略策定
 - 官学連携を前面に打ち出した策定スタイルはモデルケースに



ホットスポットのロゴ

第二期（2015～2017年）

- ホットスポットにおける『持続的な保全と活用のしくみづくり』のモデル事業を伊島で開始
- 2015年、伊島の人々、阿南市とともに「伊島ささゆり保全の会」を設立
 - 島外からのボランティアの受け入れ
 - 科学的な知見の活用
 - 生育地管理や啓発事業



- 2018年「国連生物多様性の10年日本委員会」によって連携事業として認定されました！



この事業は「国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）」が採択する事業として認定を受けています。

連携事業だけが使えるロゴマーク



第三、五期（2019～2021年）

- 阿南市環境行政の指針である「阿南市環境基本計画」の改定に着手
 - 低炭素社会、生物多様性、循環型社会
 - 経済・社会・環境の統合的な向上と持続可能性



産業と調和した西日本有数の環境先進都市へ！